

10/12 『津軽白神湖 湿地ビオトープ』で自然観察会を開催 ～湿地ビオトープで生き物を探し、生き物マップをつくろう～

津軽ダム工事事務所では、環境保全の取り組みとして、湿地ビオトープを整備することとしております。

湿地ビオトープの整備は、平成 25 年 3 月 1 日に設立した「津軽白神湖湿地ビオトープワークショップ」により、湿地環境整備の検討や植物の移植活動を行いながら湿地ビオトープを育ててきました。

今回の自然観察会は、これまでワークショップに参加していただいた方々が主体となり、地元の小学生の子どもたちにこの湿地ビオトープにすむ昆虫や植物などの生き物を知ってもらう事を目的として実施するものです。

今後、ワークショップでは、湿地ビオトープを活用した様々な環境保全や環境教育等の活動につなげていくことを目指しています。

《 開催概要 》

- 開催日時：平成 26 年 10 月 12 日(日) 10:00～15:00 ※小雨決行
- 集合場所：津軽ダム工事事務所（西目屋村役場向かい）
- 実施場所：湿地ビオトープエリア（事務所駐車場からマイクロバスにて移動）
- 対象：地元小学生等（西目屋小学校等）
- 実施内容：自然観察ラリー、湿地ビオトープでの生き物探し、マップづくり

〈発表記者會：弘前市記者會、専門記者會〉

問合せ先		
国土交通省 東北地方整備局	津軽ダム工事事務所	
電話：0172-85-3031	Fax：0172-85-3008	
調査設計課長	えんどう 遠藤	としひこ 俊彦（内線 351）
専門職	きむら 木村	きよたか 清隆（内線 350）



これまでの湿地ビオトープワークショップの 活動と試行湿地とは？

これまでの湿地ビオトープワークショップの活動内容



- 第1回 WS: 平成 25年 3月**
 ①メンバー自己紹介
 ②湿地の将来像、活動、管理についてディスカッション



- 第2回 WS: 平成 25年 6月**
 ①試行湿地の現地見学
 ②湿地の利活用案の検討
 ③改良のためのアイデア出し
 ④ダム自然环境保全対策の見学
 水質保全施設/ミクリ移植地



- 第3回 WS: 平成 25年 9月**
 ①改良工事の状況の確認
 ②導入植物のアイデア出し



- 第4回 WS: 平成 25年 11月**
 ①導入植物の移植
 ②ダムの保全対策の取組み事例の見学
 コウモリBOX/ミクチナシの接ぎ木



- 第5回 WS: 平成 26年 2月**
 ①これまでの活動のふりかえり
 ②今後の活動イメージづくりと課題の共有



- 第6回 WS: 平成 26年 7月**
 ①試行湿地に移植した植物の観察
 ②湿地ビオトープ整備案の共有
 ③環境目標の設定

活動に賛同してくれる方のご参加お待ちしております！

ワークショップの参加者 (平成26年7月1日現在)

西目屋村商工会、岩木山自然学校職員及び研修生、安藤ハザマ・西松共同企業体、白山山地財団、弘前大学 学生、個人

注) WS: ワークショップの略

これまでの試行湿地の様子



ワークショップの活動を試行的に行うためにつくった人工の湿地です。これまでに、水際の改良や水生植物の移植などの実験をしています。

『津軽白神湖 湿地ビオトープワークショップ』のこれまでの活動内容は、津軽ダム工事事務所のホームページでご覧になれます。ぜひ、ご覧ください！！
http://www.thr.mlit.go.jp/tugaru/dam/new_kankyo/dam_kankyo_simin1.html



左のQRコードでも津軽ダムホームページへアクセスできます！



ベッカーくん